

学年・教科・担当者	1年 国語科 江口清哉
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	「花曇りの向こう」 「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」	心情を表す表現や登場人物の行動から、主人公の気持ちの変化を捉える。 段落の役割に着目して文章を読む。 身近なものについての説明文を読み、使われている言葉の意味や内容をとらえる。
	7	「話し言葉と書き言葉」 「漢字の組み立てと部首」 「わかりやすく説明しよう」 「情報を正確に聞き取る」 「『好きな物』を紹介しよう」	話し言葉と書き言葉の違いと特性を理解する。 漢字の組み立てと部首を理解する。 情報を集め、取捨選択して伝える。 情報の要点を押さえて聞き取る方法を学ぶ。 わかりやすく伝えるために話し方の工夫をする。
	8	「詩の世界」「言葉を集めよう」 「空を見上げて」	詩の内容を理解し、筆者の考えに触れ、自分なりの感想を持つ。言葉の違いを理解し、日常生活での使われ方を考える。 言葉の力を読み取り、言葉について考えを深める。
2	9	書写・硬筆で学ぼう 「星の花が降るころに」 「大人になれなかった弟たちに」	文字の大きさ・形・配列に注意して、場面に応じて文字を書く。 場面ごとの情景を読み味わう。 時代や状況の中で自分を見つめる大切さを学び、作者の思いを知る。
	10	「わかりやすい案内状を書く」 「シカの落ち穂拾い」	時代や状況の中で自分を見つめる大切さを学び、作者の思いを知る。 課題を決め、伝えたい内容を整理して案内文を書く。 図表を読み取りながら、事実とそれに基づく筆者の考えを理解する。
	11	【いにしへの心に触れる】「いろは歌」、「月に思う」、「蓬萊の玉の枝」、「今に生きる言葉」 「幻の魚は生きていた」	古典に触れ、味わい楽しむと同時に、昔の日本人の考え方や感じ方に触れ、現代に通じることを理解する 内容を読み取り、要約したり、要旨をとらえたりする。

1 2	「グループディスカッションをする」	話し合いの目的を理解し、根拠を明確にして話し合う方法を学ぶ
	「感じたことを整理する」 「根拠を明確にして伝えよう」 「書写・楷書、行書を書こう」	観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。 楷書、行書の特徴に注意して書く
3	1 「少年の日の思い出」 「さまざまな表現技法」 「漢字の成り立ち」	作品の構成に注意して読み、言動に表れた登場人物の心情をとらえる。 言葉の並べ方の工夫や比喻について理解する。 漢字の成り立ちについて理解する。
	2 「印象深く思いを伝えよう」 「単語の性質を見つけよう」	目的に応じて、自分の考えや気持ちを整理して書く方法を学ぶ。 単語の分類について学ぶ
	3 「ポスターセッションをする」 「ぼくがここに」	伝えたいことを効果的な図表を用いてポスターにまとめる。 詩の言葉や表現を、主題を理解しながら読み、自らの世界を広げる

評価について	
評価の観点	評価の方法
①国語への関心・意欲・態度 (国語に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる)	授業の取り組み、ワークシート 単元テスト、定期テスト
②話す・聞く能力 (自己の考えを的確に伝え、他者の考えに耳を傾けることができる)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト
③書く能力 (自己の考えを適切な表現で書くことができる。)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト
④読む能力 (登場人物の心情を理解したり、主題を読みとったりすることができる。)	授業の取り組み、定期テスト ワークシート、単元テスト
⑤言語についての知識・理解・技能 (漢字や慣用句、伝統的な言語文化について理解する。)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト